

ご購入ありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度：平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃ で使用した場合)
- 使用温度範囲：0 ~ +40℃ ※結露なきこと (外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- タイマー表示方式：メモリバー表示、液晶4桁表示
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 4個
- 電池寿命：約 12 ヶ月 (単3形アルカリ乾電池4個を使用し、1日にアラームを3回使用した場合)
- 時刻表示：12時間制表示、または24時間制表示 (4桁表示のみ)
- カレンダー表示：2019年1月1日 ~ 2099年12月31日 (フルオート)
- アラーム音：電子音 (30秒後オートストップ)
- タイマー予告音：残り時間の3分前になると鳴る
- 音量切替：大 / 小 / 消音
- カウントダウン：メモリバー表示 (最大 60 分)
- 一時停止機能
- 温度計：表示範囲 -10.0 ~ +60.0℃ ※-10.0℃より低いとLLL、+60.0℃より高いとHHHを表示
精度 ±2℃ (-10.0 ~ +60.0℃の範囲)
- 湿度計：表示範囲 20 ~ 99%RH ※20%より低いと20%RH、99%RHより高いとHHを表示
精度 ±7% (常温時、20 ~ 99%RHの範囲)
- 環境目安表示：インフルエンザ注意 / 熱中症注意
- 時刻オン / オフ
- 置掛両用
- 背面マグネット

●印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

本体のご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 強制**
 - 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、乳幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受ける。
- 禁止**
 - 分解や改造をしない
ケガや故障、火災や感電の原因になる。
 - 故障や破損した状態で使わない
ケガや火災、感電などの原因になる。
 - ぬれた手でさわらない
さびや故障、感電の原因になる。
 - 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる場所では使わない
さびや故障、感電の原因になる。
 - 本体内部に水分や異物を入れない
 - 火の中に捨てたり加熱しない
 - 梱包用袋は絶対に被らない

注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 禁止**
 - 下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になる。
 - ◆直射日光が当たる所
 - ◆火気のそば
 - ◆暖房機器の風が当たる所
 - ◆温度が +40℃ 以上の所、または -10℃ 以下の所
 - ◆寒暖差が大きい所
 - ◆ほこりが多く発生する所
 - ◆強い磁気を発生させる機器のそば
 - ◆車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所
 - ◆プール、温泉場などガスの発生する所
 - ◆調理場など多くの油を使用する所
 - ◆色移りや付着、変質の可能性があるため、ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに、長い間、直接ふれさせておかない。
 - 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になる。

電池のご注意

危険 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 強制**
 - 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだ場合、あるいは飲み込んだ恐れのある場合は、直ちに医師に連絡して指示を受ける。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 禁止**
 - 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。
 - ◆電池に傷をつけない。
 - ◆電池をショートさせない。
 - ◆電池を充電しない。
 - ◆電池を加熱しない。
 - ◆電池を火の中に入れない。
 - ◆電池に直接ハンダ付けをしない。
 - ◆⊕と⊖を逆に入れない。
 - 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない。
衣服に付着した場合は、すぐに水で洗い流す。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する可能性が高い。
電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取る。
修理が必要な場合は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご相談下さい。

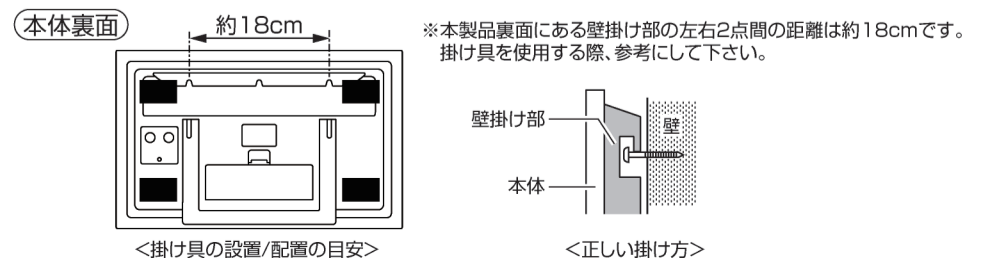
注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 強制**
 - 電池の⊕⊖を正しく入れる
正しく入れなかった場合、液漏れや発熱の原因となり、ケガや故障の原因になる。

設置方法について

注意 設置方法が不適切な場合、落下する危険があります。

- 背面マグネットが黒板や鉄板に貼り付けてご使用になる場合は、本製品を手を持ったまま、確実に貼り付けていることを確認してから、手を離します。滑り止めのゴムシートが背面にあります。滑ったり剥がれたりしないか十分確認して下さい。
- 本製品を黒板などから外す際は、必ず両手でしっかりと持って下さい。落下すると製品が破損するだけでなくケガをする恐れがあります。
- 本製品を磁気カードや磁気テープなどの近くで使用しないで下さい。マグネットの磁力の影響で、カードやテープが使用出来なくなる場合があります。
- ホワイトボードなどの表面がフィルム状の鉄板は、磁石の吸着力が弱いため、マグネットが貼り付かず、滑り落ちる場合があります。
- 掛け具に本製品を掛けの際に、上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 本製品は垂直・水平に掛けて下さい。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けしないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。
- スタンドを使用して机などに立ててご使用になる場合は、スタンドを最後まで開き、平らな場所に置いて下さい。



電池について

- 電池のご使用上のポイント
 - ◆⊕と⊖を間違えない。
 - ◆表示が動いていても定期的に交換する。
 - ◆長期間使用しないときは機器から電池を取り外す。
 - ◆表示が消えたらすぐに電池を取り外す。
 - ◆電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池の種類について
推奨以外の電池では製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。一部の高性能電池は、初期電圧が高く本製品には不向きなものがあります。アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、マンガン乾電池を使用した場合、電池寿命が短くなり、そのまま使用し続けると、液漏れが発生する原因となります。アルカリ乾電池とマンガン乾電池は併用しないで下さい。充電式電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。正常に動作していても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目途に、電池を交換して下さい。消耗した電池を使い続けると、液漏れが発生する恐れがあります。

電池の交換について

- 注意** 電池からの液漏れにより、製品の修理や設置場所周辺の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守り下さい。
- 表示が消えたときは、速やかに新しい電池に交換するか、電池を取り外す。
- 表示が動いていても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目途に、定期的に交換する。
※電池着脱の際は、ケガをしないように注意して下さい。

電池・本製品の廃棄について

- 廃棄の際は、お住いの地区自治体の指定に従って下さい。
- 電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁する。
(他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあるため)

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 0 ~ +40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。
- 液晶(LCD)は、平面の衝撃に非常に弱い特性を持っています。落下時にLCD面を破損する場合がありますので注意して下さい。

温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、ご注意ください。

お問い合わせ先

ノア精密株式会社 サービスセンター

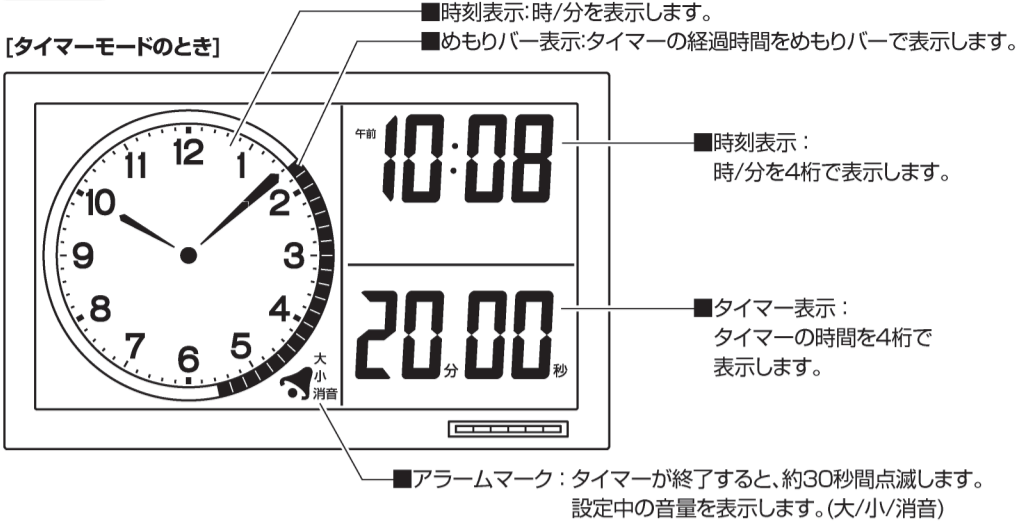
〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1
TEL:048-933-4080

受付時間:月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
10:00～12:00、13:00～17:00

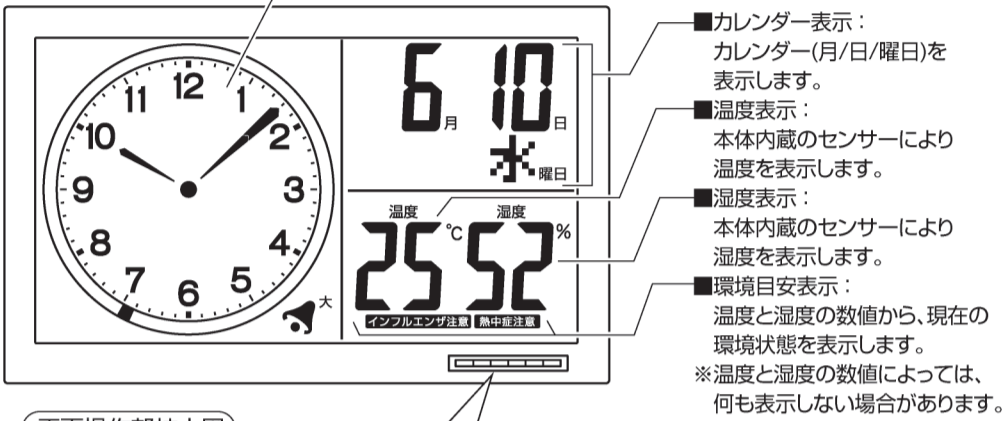
※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。
※お問い合わせの際には、型番をお伝え下さい。
※通信にかかる費用はお客様のご負担になります。あらかじめご了承下さい。

<https://www.mag-clock.co.jp>

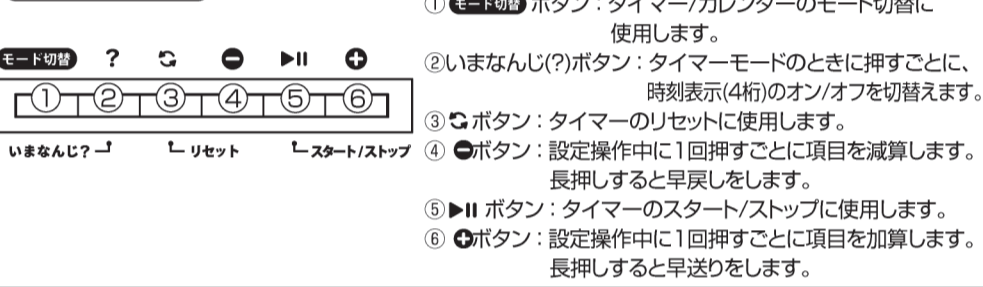
本体正面



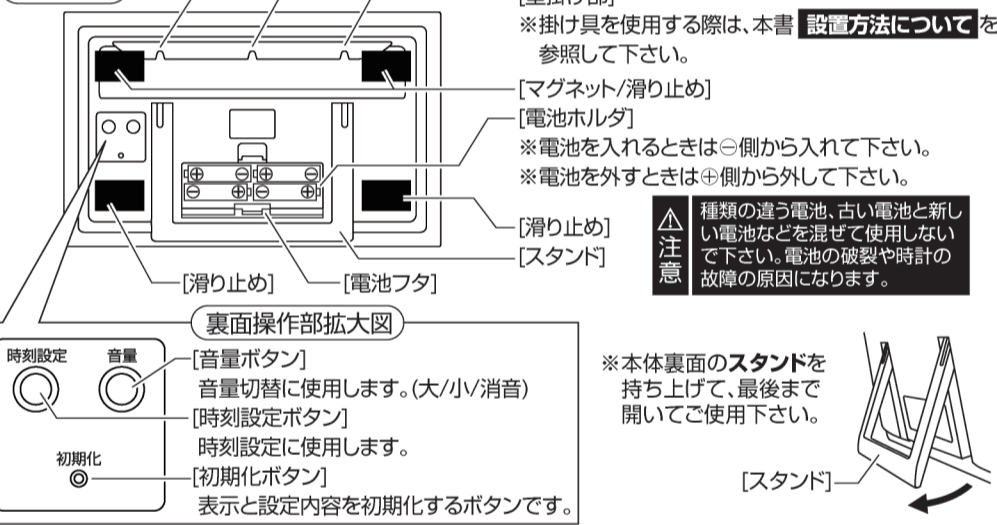
カレンダーモードのとき



正面操作部拡大図



本体裏面

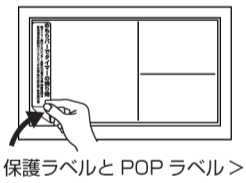


※本体裏面のスタンドを持ち上げて、最後まで開いてご使用下さい。

注意 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因になります。

ご使用方法

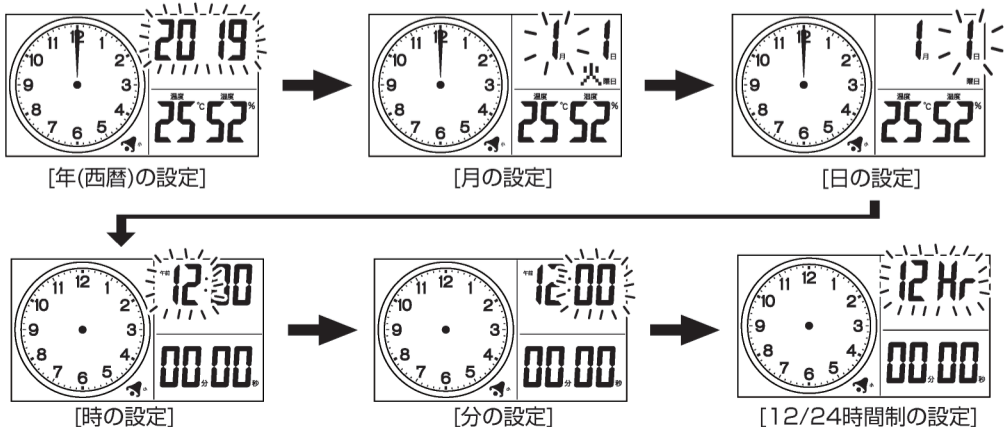
- ①透明の保護ラベルとPOPラベルを剥がす。
※ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。
- ②電池フタを開けて単3形乾電池4個を⊕/⊖の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じる。→「ビ・ビ・ビ」と確認音が鳴った後、液晶画面を表示します。
- ③初期化ボタンを押す。→「ビ・ビ・ビ」と確認音が鳴った後、液晶画面を表示します。
※本書「初期化について」を参照。
※初期設定はタイマーモードです。



時刻を設定する

注意 設定中の点滅は約15秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

- ①時刻設定ボタンを2秒以上押し続ける。→時刻設定モードに入り、[年]部分が点滅します。
- ②+ボタン、-ボタンを押して[年(西暦)]を設定し、時刻設定ボタンを押して決定する。
- ③時刻設定ボタンを押すごとに[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]→[12/24時間表示]が点滅するので、+ボタン、-ボタンを押してそれぞれを設定する。
※[秒]は[分]設定のときに+ボタン、-ボタンを押すごとに00秒に設定されます。
- ④[秒]の設定が終了したら時刻設定ボタンを押す。→点滅が終了し、時刻設定が完了します。
※設定完了後、タイマーモードから設定開始した場合はタイマーモードへ、カレンダーモードから設定開始した場合はカレンダーモードの表示に戻ります。



※[年・月・日]を合わせないと[曜日]は正しく表示されません。

タイマーの設定について

- ①タイマーモードにする。→タイマー表示が「00分00秒」を表示します。※本書「モード切替について」を参照。
- ②+ボタン/-ボタンを押して、タイマーの時間を設定する。→タイマーの設定時間に応じて、メモリバーを表示します。
※最大60分まで設定する事が出来ます。
※設定は1分間隔です。秒単位での設定は出来ません。

例)午前10:00のときに、タイマーを20分に設定する場合。



※タイマーの設定後、何も操作をせずに時刻が進んだ場合、分針と一緒にメモリバーも動きます。

例)午前10:00のときにタイマーを20分に設定後、カウントダウンをスタートしなかった場合



カウントダウンについて

- ①タイマー時間を設定後、▶|| ボタンを押す。→1秒単位でカウントダウンが始まります。1分経過するごとに、メモリバーが1個ずつ消えます。
- ②「00分00秒」になるとアラームが鳴り、アラームマークが点滅します。
※アラームは鳴り出しから30秒後に自動停止します。
- ③アラームを止めるときは、いずれかのボタンを押す。
※カウントダウン中は、いまなんじ(?)ボタン/▶|| ボタン/音量ボタンは使用できますが、それ以外のボタンは使用できません。
※カウントダウンが終了すると、タイマーの設定時間は「00分00秒」に戻ります。

例)午前10:00のときにタイマーを20分に設定後、カウントダウンをスタートした場合



予告音について

- タイマーの残り時間が3分になると、「ビピッ」と予告音が鳴ります。
- ※音量が消音のときは、予告音は鳴りません。
- ※タイマーの設定時間が3分以下のときは、予告音は鳴りません。

一時停止機能について

- カウントダウンの作動中に▶|| ボタンを押す。→カウントが一時停止します。もう一度▶|| ボタンを押すと、カウントを再開します。
- ※カウントダウン中に一時停止をすると、タイマーのカウントは止まりますが、時刻表示は運針を続けます。そのため、カウントダウンの再開後は、メモリバーの目盛の減り方が時刻表示と一致しくなくなります。
- ※一時停止中に+ボタン/-ボタンを押すと、タイマーの残り時間に1分単位で加算減算出来ます。
- ※一時停止中に、時刻設定ボタン/モード切替 ボタンを使用する事は出来ません。使用する場合は音量ボタンを押してタイマーをリセットしてから行って下さい。

タイマーのリセットについて

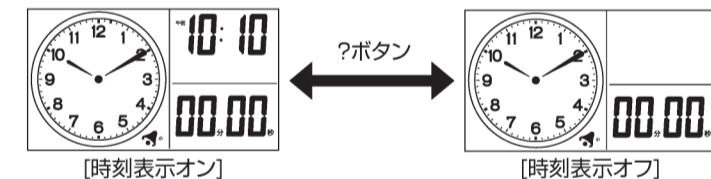
カウントダウンの停止中に音量ボタンを押す。→タイマーがリセットされ、「00分00秒」を表示します。

音量切替機能について

- 音量ボタンを押すごとに、アラーム音量を切替えることが出来ます。(大/小/消音)
- ※お使いの音量は「小」に設定されています。
- ※音量が消音のときにアラームは鳴りませんが、アラームマークが点滅します。
- ※音量が消音のときは、予告音は鳴りません。

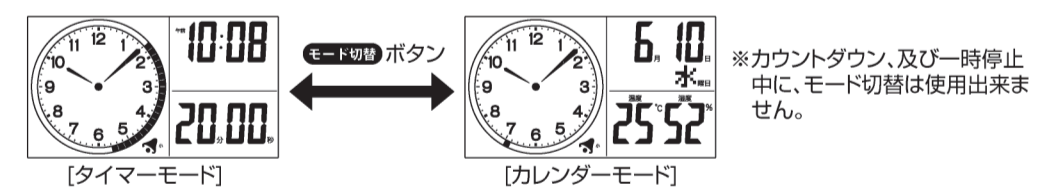
時刻オン/オフ機能について

タイマーモードのときにいまなんじ(?)ボタンを押すごとに、右上の時刻表示のオン/オフを切替えます。時刻の読み方の学習にご活用下さい。



モード切替について

モード切替 ボタンを押すごとに、タイマーモードとカレンダーモードを切替えます。



環境目安表示について

- 温度と湿度の数値から、現在の環境状態を表示します。[インフルエンザ注意/熱中症注意]
- ※温度と湿度の数値によっては、何も表示しない場合があります。
- ※環境目安表示は、あくまで空調や体調管理の目安です。表示により発生の有無を断定するものではありません。公的機関から発表される「注意」「警報」などとは一致しない場合があります。
- ※本製品はインフルエンザ・熱中症を完全に防止できる製品ではありません。
- ※本製品は、商取引や証明には使用できません。また、医療及び業務用製品ではありません。

電池の交換について

- 電池容量が少なくなると、液晶表示が薄くなったり、歪んだり、アラーム音が小さくなったりします。このような場合はすみやかに同じ種類の新しい電池に4個同時に交換して下さい。
- ※新しい電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなることがあります。

お手入れについて

- 本製品と貼り付ける面との間が汚れていると、滑り止めの効果が十分に得られず、落下の原因になります。定期的に確認し、お手入れをして下さい。
- プラスチック部品、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふいた後に、カラブきして下さい。木製部品、金属部品は柔らかい布でカラブきして下さい。
- ベンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
- ※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となります。

初期化について

- 電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れた後は、必ず初期化ボタンを押して下さい。
- ※初期化ボタンは、先の細い尖っていない棒などで押して下さい。針などの先端の鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意下さい。